

平成25年度施策評価調書

整理番号	12
評価担当課	市民部市民課

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	国民健康保険事業の運営		
総合計画の位置づけ	基本目標	2	安心して健やかに暮せるまちづくり
	主要施策	7	国民健康保険

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	市民の4分の1にあたる、6,993人の被保険者が加入し、運営されています。疾病・出産・死亡の時などに、それぞれ保険給付を行っています。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	運営に必要な財源は、被保険者が納める保険税と国などの負担金で賄なわれています。被保険者数の減少による税収の減少をはじめ高齢化の進行、疾病構造の変化や医療技術の進歩などにより医療費が高水準で推移し、基金残高も僅少となり、平成25年度税率を改定しました。
施策の課題	健康づくりや生活習慣病の予防に着目した保健事業の推進及び医療費の適正化に努めることが課題です。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H22	H23	H24	目標年度(年度)
国保財政の安定健全化	毎年度実質収支(黒字決算であること)	目標値	0	0	0	0
		実績値	-32,856	-115,395	-74,164	
		進捗率				
医療費の適正化	「国保安定化計画」で定める5~7年の指標 ※平成22年度の策定	目標値	1.133	1.133	1.133	1.133
		実績値	1.134	1.118	1.137	
		進捗率	100%	99%	100%	
保険事業の推進	特定検診受診率	目標値	45.3	55.2	65.0	
		実績値	26.1	29.2	30.1	
		進捗率	58%	53%	46%	
保険事業の推進	特定保健指導受診率	目標値	43.0	44.0	45.0	
		実績値	69.9	76.8	89.6	
		進捗率	163%	175%	199%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
B	名寄市国保運営協議会において適正に審議しています。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

政府の社会保障制度改革国民会議で市町村国保の広域化の議論がされています。税と社会保障の一体改革で消費税率が改正される際に国保制度に対する国の具体的な支援内容について期待されますが、これからの議論待ちです。

6 外部評価の意見等

7 2次評価の意見等

国民健康保険事業は、保険税及び国庫支出金等の特定収入を財源として保険給付等の支出を行っています。従いまして、保険事業単体で収支を均衡させ、安定的な財政運営を行うことが求められています。しかし、国民健康保険制度は、被保険者の減少による税収の減少・高齢化の進行、医療費の増加など構造的な課題を抱えています。特に、保険事故の発生の未然防止や疾病の早期発見による重症化を防止し、被保険者の健康保持増進を図り、年々増加する医療給付の適正化を図る取組が求められています。

8 施策を構成する事務事業

(1)H24年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H24決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	名寄市国民健康保険事業安定化計画推進事業	各種検診率向上により医療費適正化を図り、国保経営基盤の安定化を図る	2,795								

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)